

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 5 月 27 日(2024.5.27)

【公開番号】特開 2022-181127(P2022-181127A)  
【公開日】令和 4 年 12 月 7 日(2022.12.7)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-225  
【出願番号】特願 2021-87986(P2021-87986)  
【国際特許分類】  
A 63 F 5/04(2006.01)  
【F I】  
A 63 F 5/04 620

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 5 月 17 日(2024.5.17)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

複数のリールと、  
複数のストップボタンと、  
内部抽選を行う内部抽選手段と、  
補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、  
前記複数のリールは、第 1 リールと、第 2 リールと、第 3 リールと、を有し、  
前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、  
前記複数種類の当選態様には、特定当選態様が含まれ、  
前記特定当選態様には、第 1 小役と、第 2 小役と、第 3 小役と、が含まれ、  
前記第 1 小役は、前記第 2 小役及び前記第 3 小役よりも高い配当に設定され、  
複数種類の前記特定当選態様のそれぞれについて、前記複数のストップボタンの操作態様として正解操作態様が設定されており、  
前記第 1 リールを最初に停止させる操作態様は、いずれの前記特定当選態様においても正解操作態様に設定されておらず、  
前記第 2 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記特定当選態様と、前記第 3 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記特定当選態様と、を有し、且つ前記第 1 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記特定当選態様が有さず、  
前記内部抽選で前記特定当選態様に当選した場合において、  
前記正解操作態様で前記複数のストップボタンが操作された場合に、前記第 1 小役が入賞し、  
前記正解操作態様とは異なる操作態様のうち、前記第 1 リールを最初に停止させる操作態様で前記複数のストップボタンが操作された場合に、前記第 2 小役が入賞し、  
前記正解操作態様とは異なる操作態様のうち、前記第 2 リール又は前記第 3 リールを最初に停止させる操作態様で前記複数のストップボタンが操作された場合に、所定の確率で前記第 3 小役が入賞し、且つ前記第 3 小役が入賞しない場合には、いずれの役も入賞せず、  
前記補助遊技制御手段は、  
前記特定当選態様に当選した場合に、前記正解操作態様を示唆する補助遊技を実行可能

30

40

50

であり、

補助遊技に係る特典を付与可能であり、

付与する前記特典が所定数以上となる場合に、補助遊技に係る有利度合いを変動する処理を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明は、複数のリールと、  
複数のストップボタンと、

内部抽選を行う内部抽選手段と、

補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記複数のリールは、第１リールと、第２リールと、第３リールと、を有し、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、

前記複数種類の当選態様には、特定当選態様（例えば、当選エリア「打順ベル１」～当選エリア「打順ベル８」、段落〔０２４９〕、図１４）が含まれ、

前記特定当選態様には、第１小役（例えば、ベルＡ～ベルＤ、段落〔０２６７〕、図１４、図１６）と、第２小役（例えば、１枚役Ａ、段落〔０２７１〕、図１４、図１７）と、第３小役（例えば、１枚役Ｃ～１枚役Ｎ、段落〔０２７２〕、図１４、図１７、図１８）と、が含まれ、

前記第１小役は、前記第２小役及び前記第３小役よりも高い配当に設定され、

複数種類の前記特定当選態様のそれぞれについて、前記複数のストップボタンの操作態様として正解操作態様が設定されており、

前記第１リールを最初に停止させる操作態様は、いずれの前記特定当選態様においても正解操作態様に設定されておらず、

前記第２リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記特定当選態様と、前記第３リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記特定当選態様と、を有し、且つ前記第１リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記特定当選態様が有さず、

前記内部抽選で前記特定当選態様に当選した場合において、

前記正解操作態様で前記複数のストップボタンが操作された場合に、前記第１小役が入賞し、

前記正解操作態様とは異なる操作態様のうち、前記第１リールを最初に停止させる操作態様で前記複数のストップボタンが操作された場合に、前記第２小役が入賞し、

前記正解操作態様とは異なる操作態様のうち、前記第２リール又は前記第３リールを最初に停止させる操作態様で前記複数のストップボタンが操作された場合に、所定の確率で前記第３小役が入賞し、且つ前記第３小役が入賞しない場合には、いずれの役も入賞せず、

前記補助遊技制御手段は、

前記特定当選態様に当選した場合に、前記正解操作態様を示唆する補助遊技を実行可能であり、

補助遊技に係る特典を付与可能であり、

付与する前記特典が所定数以上となる場合に、補助遊技に係る有利度合いを変動する処理を実行可能である、ことを特徴とする。

10

20

30

40